



# 善正寺だより

掲示板法話

## 年々にわが悲しみは深くして いよよ輝くのちなりけり

地球温暖化の影響か、秋らしくない秋が続きましたが、ようやく初冬らしい師走を迎えました。

四季の変化を人生になぞらえてみると、春は乳幼児から青年の時代、夏は働き盛りの壮年時代、秋は熟年から高齢化の時代、そして冬は晩年ということになります。「冬&晩年」というと暗いイメージを抱く人が多いでしょう。しかし、仏法に遇えば老化現象や病い、かけがえなき人との別れなど、現実の苦悩が消えてなくなることはなくとも、「乗り越えて生きて往けます」という力強い人生が開けます。次の歌は見事にそれを示しています。

年々にわが悲しみは深くして  
いよよ輝くのちなりけり  
(岡本かの子)

悲しみは深くても、「いのちを輝かせるもの」は何でしょうか?

過日亡くなられたおばあさんは、手厚い自宅介護の末、自宅での往生でした。そのこと自体近年きわめて珍しいことですが、臨終勤行(いわゆる枕経)にまいりましたら、実に大勢の家族、



〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
TEL:0593-31-1670  
TEL:0593-32-0733

親族が勢ぞろいで、若い孫さんも交じって参列されました。「臨終勤行は、おばあさんの毎夜のお勤めに唱和する心でお勤めさせて頂きます。仏説阿彌陀經とご和讃のお勤めです。ご存じの部分だけでも皆さん唱和してください」と申し上げてお勤めを始めました。すると随分大勢が唱和して下さいました。お勤めが終わわり、参列者の方に向き直ると老いも若きも皆聖典持参で唱和されたことが分かりました。お仏壇横の床の間には、故人自筆の墨痕鮮やかな「南無阿彌陀仏」のお軸がかけられ、暫くの間故人を偲ぶお話が続いたのでした。

葬儀翌日のお寺参りの時、長い間の自宅介護を可能にした理由が分かりました。一つは訪問診療を大切にしてお医者さまの存在です。亡くなられた日は休日にもかかわらず、二度も診療に駆けつけて下さったそうです。聞いてみるとそのお医者さまは我々も旧知のお寺出身の御次男で、その先生の亡きご両親は我々の縁結びの恩人でした。仏法に裏付けられた医療、介護だと直感しました。

### ☆行事ご案内☆

## 『お内仏報恩講』



12月7日(土)夜7時半 庫裏仏間

ぜんざい、お酒、お寿司等を用意してお待ちしています。忘年会も兼ねていますので、お誘い合わせてお参り下さい。毎年30名~40名程の皆さんがご参集下さいます。

- ◇キッズサンガ11月30日(土)4時。お経、ゲーム等、毎夕5時の鐘つき、年中無休。
- ◇除夜の鐘12月31日夜11時45分より誰でも撞けます
- ◇元旦会1月1日9時より 庫裏仏間、正信偈

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。トップページの左欄「善正寺だより」をクリック、ファイルを開くと1年分の寺報が見られます。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評。

開設5年4か月で12万6千訪問、一日平均100程、コメント大歓迎、  
◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ

### ※三重組コーラス

- 11/22京都西本願寺御堂演奏会、連続11回目。12月は練習休み
- ※親鸞聖人750回大遠忌法要、平成28年5月15日に決定!
- ※来年4月19日午後「初参式」を受ける赤ちゃん、幼児を大募集
- ◇秋勤進11月23日午前8時より行事さんが巡回、年回表、12月号寺報、カレンダー配布。秋勤進志、750回忌法要の懇志(第一期分、12月末までの分)を集めます。ご協力よろしくお願い申し上げます。
- ※本堂内陣天井修復中に付き、来年3月初めまで使えません

もう一つの理由がまた、素晴らしい!お孫さんの一人が一般企業勤務を辞めて福祉関係の大学に入り、卒業後介護福祉の仕事に従事されるようになり、おばあちゃんの家から通勤する形でおじさん夫婦や両親の介護の手助けをすっかり果たしてくれたのです。「おばあちゃんいのちの輝きは、仏縁に導かれた人の和がもたらしてくれたのですね。」

こんな仕合わせなケースは偶然かもしれませんが、だが、仏縁に彩られた人生は温かく、頼もしい。来る年もまた、念仏の教えを大切に、かけがえなき日々を過ごしたいものですね。



報恩講、お非時風景  
内陣天井修復中の本堂

### 坊守スケッチ

## 運がいい？悪い？あなたはどっち？



「今日はパチンコで大当たりして運が良かった」とか、「試験で予想した問題が出なくて運が悪かった」という言葉をよく聞きます。浄土真宗では「運がいい、悪い」という言葉は、あまり使われません。全て『因果応報』で説かれる教えです。宝くじで大当たりしても、くじを買わなければその幸運に巡りあえません。これからいう「運がいい」という言葉は、「柵からポタモチ」のような意味ではなく、「おかげさまで」と喜ぶ意味のことです。先月号の坊守スケッチで『ロスライオン』について書きました。自分の生涯を年代順に振り返ってみて、幸せだと感じたことは上にカーブし、不幸だと感じたことは下にカーブする連続曲線です。不思議なことに、その当時は死ぬほど辛く悲しかったことでも、どこからともなく救いの手が差し伸べられて、今日まで生き抜くことができたと自覚できます。これが「おかげさまで」と受け止める世界なのです。松下幸之助氏の有名なエピソードがあります。新入社員の面接試験で、松下氏は必ず次の質問をします。「あなたは今まで生きてきた中で、運がよかったと感じていますか？それとも運が悪かったと感じていますか？どっちですか？」

試験を受けに来た人は面食らいます。(運が良いと答えれば、ここで採用されなくても他所で採用されると受け取られるかもしれない。運が悪いと答えれば、お情けで採用してくれるかもしれない。いろいろ迷いました。あなたならば、どちらに答えますか？結果は「運が良かった」という人を採用し、「運が悪かった」という人が不採用になりました。

松下幸之助氏の考えは、次の通り。運が良かったと感じる人は、周囲のおかげさまが見えている。同じ年代の若者だから、苦勞も似たり寄ったり。しかし自分の身の上にもいつも不平不満、愚痴ばかり言う若者と、ここまでやって来られたのは、わが力だけではない。両親、先生、友達の支えがあればこそだと受け止める若者。両者の生き方には大きな隔たりがあります。たとえ会社に入っても、おかげさまと思える人は、職場の人間関係も上手くいきます。さすが経営の神様と言われる松下幸之助氏ならではの人物評価です。それは学歴や成績で表すことのできないものです。「おかげさま」の心を教えるのは、学校でも先生でもありません。それは家庭教育の大事な柱です。毎日の食事の度の「いただきます」「ちそうさま」に代表されるような温か

い家庭環境の中で育ちます。地域の人々の励ましも忘れてはなりません。周囲の人々の「ご恩」をしつかり受け止め、「おかげさまで」と感謝の心を忘れない生き方こそが、「運がいい人生だ」と思えるのではないのでしょうか？

### ☆寄稿

四日市市 川崎孝一

☆秋口の 青天の下 亮爾ちゃん

確と地を踏み 公園デビュー

☆「ほんごさん」呼ばりの翁 其の昔

火鉢の炭火 継ぎ足す勤め

☆訪い巡る 牛久大仏 娘等は

女夫で写経 願以此功德

☆運ね来る 台風二個の 狭間にも

氣遣う中を 木犀薫る

### Eさんのいいもの紹介

元門徒総代の伊崎栄一氏の今月おススメの句は、数藤五城が作った俳句

☆橋一つ 我に掛れり 秋の川

※作者は仙台二高、東京一高で数学を教え、晩年は子規に師事。四三歳で死去。後半生は浄土真宗の信仰生活に浸った。この句は一見普通の風景を読んだ俳句のようだが、題は『浄土可入』。

正信偈の功德を俳句の形で述べた。秋の野の川に掛る橋。念仏を正信すれば、これを渡って弥陀の浄土に行ける心を読んだ。(大岡信の評)

※死が間近に迫った人の心境が、秋の川という表現で分かりますね。(坊守)

### ☆悔やみ申し上げます

★服部操様(11月4日・89歳・晴町)

台掌

### ☆カンパ有難う☆

高橋智恵子様、他匿名様より頂戴。

### ★ホットニュース

☆11月23日(土・祝)午前8時より行事さん、世話方さんが手分けして『秋勸進』に巡回。年回表、寺報、カレンダー配布。秋勸進志、750回忌法要懇志(第一期分)等、集めます。よろしくご協力お願いします。

☆報恩講終了後、本堂屋根一部西面、内陣天井等の修理工事に入ります。来年3月初めまで本堂は使えません。

『元旦会』や『お朝事』は、庫裏仏間で勤めます。しばらくの間ご不便をおかけしますが、よろしくご了承下さい。

☆12月7日(土)夜7時半より庫裏仏間で『お内仏報恩講』。お誘い合わせてご出席下さい。ぜんざいやお酒、寿司など用意してお待ちしています。

☆「新たななる」であいへ、中央教修のすすめ」開催(ご案内)

◇十二月十五日(日)午後一時半より

◇みたち・浄蓮寺にて

◎第14期連続研修には善正寺より、佐藤和美氏、佐藤和義氏が参加、無事研修を修了されました。従来からの修了者も含め、更に中央教習を受講し、第二の人生を門徒推進員として心豊かに活動することを願い、今回の集いが企画されました。申込締め切りは二月四日(水)奮って参加願います。

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第二四〇号をお届けします。◇発行から満二十年、読者の皆様に感謝。今後とも「愛読の程を。

今年もいよいよ師走、気持ちばかりが急いでいます。二〇三年はあなたにとってどのような年でしたか？、アベノミクスに象徴されるような経済が好転した年だったのか？、その思慮が少しも感じられない悲惨な年だったのか？、人それぞれに感じ方は違います。日本シリーズで楽天が日本一に輝いたニエスは、東北被災地の人々に大きな励ましを与えてくれました。また七年後に東京オリンピックが開催されるニエスも、日本中に大きな希望をもたらししてくれました。私は大きな夢を見ることはできませんが、孫から些細なことでも喜べる幸せを感じています。一歳八ヶ月になる孫は、日々新しいことができるようになり、成長の速さに驚くばかり、それに反して老いることはできないことが増えていくばかり。元気を頃考えていた老いと、実際その歳になって初めて分かることのギャップに驚いています。報恩講のお説教で「宗教は理屈ではない。自分のお尻が拭けなくなった時でも有難いとお慈悲を喜べるか？、安心してお任せできるか？、どうか、それが聴聞の真価だ」と聞かせて頂き、ゴウとしました。今年も喪中葉書が届きました。先立つ人々は松達に人生の行く末をお示し下さいます。この時期こそ後生の一大事を心に刻む機会にしたいものです。十二月七日(土)夜はお内仏報恩講です。皆様のお誘い合わせの上、お参り下さいませ。十一月から三月始めまで本堂内陣修復中に付、本尊は書院に安置し、また平成二十五年十二月 合掌 善正寺坊守持